

町史編さん委員修正意見リスト

資料 4

章	節	頁	行	修正意見等	修正意見等への対応方針
第一章		1	29	【安平 D 遺跡】 「刀子」は現代の短刀や小刀を意味しており、分かりやすく表記する必要がある。	●執筆原稿へ反映 刀子（短刀）と記載する。
第二章	第一節	3	2	【開基】 「早来町開基の地であるフモンケ地区」とあるが、「安平村」または「旧早来町」と記述すべきではないか。以下「追分町」も同様	●執筆原稿へ反映 「旧早来町」に修正する。 ≪補足≫ 前史については、旧町史に記載のある出来事を要約していること、また、明治 25 年 8 月 1 日を追分町の開基としていることから、それぞれ旧町の開基として整理。なお、合併以降については「安平町の開基」または「本町の開基」として整理
第二章	第二節	4	15	【町名の表記】 当時の町名表記とするのか現在の町名を使うのか、明確にする必要がある。	●執筆原稿へ反映 むかわ（鶴川地区）に修正し、鶴川・穂別の記載がある場合は、むかわ（鶴川・穂別地区）と記載する。
第二章	第五節	8	1	【酪農業の振興】 (中略)により省略した内容が長文にならないのであれば記載したほうが良い。	●執筆原稿へ反映 次のとおり全文を記載する。 『本村への乳牛導入については、村長であり、産業組合長であった山田忠次郎の酪農振興に対する積極的意欲的な行政が、「今日全国屈指の酪農地となった早来町に、その」礎石を築いた』
第四章	第一節	17	6	【追分高等学校（全日制）設置】 昭和 24 年に苫小牧高等学校追分分校（定時制）が設置、同 26 年には追分高等学校（定時制）として独立とあるが、追分高等学校の全日制が最終的にいつ設置されたかを追記する必要がある。	●執筆原稿へ反映 全日制の設置は昭和 28 年 4 月 1 日であり、その旨追記するが、記載方法については要検討
第四章	第一節	17	19	【村議会議員選挙当選者】 追分村初の村議会選挙当選者が 4 名しか記載されていないので、全員の氏名を載せたほうが良いと思う。	●人数のみ記載 ※前史については旧町史を要約・編集していることから、人名に関しては前史を参照していただきたい。 ※「第二章第四節 二級町村制時代」における初村議会選挙でも 12 人と人数のみ記載

第四章	第二節	20	6	<p>【開基 90 周年分村 30 周年記念式典】</p> <p>式典で表彰を受けた開拓功労者 5 人と永年在住者 10 人の氏名を載せたほうが良いと思う。</p>	<p>●人数のみ記載</p> <p>※前史については旧町史を要約・編集していることから、人名に関しては前史を参照していただきたい。</p> <p>※「第二章第四節 二級町村制時代」における初村議会選挙でも 12 人と人数のみ記載</p>
第四章	第三節	21	1	<p>【追分機関区の車庫】</p> <p>車庫の改築、再建が行われてきた中で、「現在はわずかにその一部が記念碑として残っている」とは何の一部がどこに残っているのか。</p>	<p>●執筆原稿へ反映</p> <p>機関区車庫火災で焼失した D51241 号機関車の主動輪とプレート入りの煙室扉をコンクリート台座に設置した記念碑を現在の旧鉄道資料館前に設置していたものであるが、この記念碑は道の駅建設時に解体・撤去したことから、次のとおり修正する。</p> <p>『道内屈指の規模を誇った車庫であったが、現在では焼失を免れた一部の S L 部品が鉄道資料館に保存されているのみである。』</p>
第四章	第四節	21	16	<p>【国営農地開発事業】</p> <p>農地開発事業が国営事業に格上げされたが、造成面積を記載すべき。</p>	<p>●執筆原稿へ反映</p> <p>記載する方向で文章整理を行う。</p>
第四章	第四節	21	節全般	<p>【国営かんがい排水事業安平川地区】</p> <p>本事業については、昭和 57 年から事業開始され、当初は安平ダム建設を予定していたものの、社会情勢や農業情勢の大きな変化により中止を余儀なくされた経緯がある。</p> <p>また、安平ダム建設計画については追分町史に掲載されている第二期追分町総合開発計画書（昭和 48 年策定）でも触れられていることから、記録として前史に掲載する必要があるのではないか。</p>	<p>●安平町史の分野編に記載</p> <p>※本事業については昭和 57 年に地区調査が開始され平成 27 年に事業完了。なお、前史については旧町史を要約・編集しているものであり、追分町史には「安平ダム」に関する記載がないことから、安平町史の分野編で記載することとしたい。</p>
第四章	章全般			<p>【追分中学校の火災】</p> <p>昭和 43 年 11 月 22 日に追分中学校校舎が全焼したことに触れていないが、旧町の歴史的にも大きな出来事であり、後世に残しておくためにも記載しておくべき。</p>	<p>●執筆原稿への記載を見送る</p> <p>※年代的には「第四章第二節 復興期の追分町」における事案であり、旧追分町における大きな出来事であることは認識しているが、前後の文章の流れからも執筆原稿に記載することで違和感を持つため、原稿への記載は見送りたい。</p>
全般				<p>【数の表記】</p> <p>数の表記が統一されていない。</p>	<p>●執筆原稿へ反映</p> <p>執筆要領に基づき記載しているが、最終的には校正時に受託者で対応する。</p>